

1. 婦人の農作業用モンペの布地には、ほとんど久留米絣が使用されているので、久留米絣の産地において既製品として縫製され、市販されているモンペの着用の実態とその損耗の状態をしろうとするものである。

2. 1. 作業衣着用の実態については福岡県内の5地区を抽出した。

2. 作業衣損耗の実態については、農作業中に各種モンペをそれぞれに着用して、その損耗の状態を調べた。

3. 1. 1日に11時間から7.7時間作業衣を着用していた。その長時間着用の年代は21歳から60歳におよんでいた。

2. 農作業用モンペには、ほとんどが久留米絣地がもちいられていた。

3. 作業用モンペの着用中の損傷はすりきれがほとんどで、ほころびはきわめてわずかであった。

4. モンペ着用後の布の厚さは、左右のひざが最も薄く、臀部がそれについていた。

5. モンペ着用後の布の透気度は、左右のひざ、左右の臀部がきわめて大であった。

6. 布のすりきれの状態においては厚さと透気度の相関関係があると認められた。